

回覧

令和6年度お礼と報告（日本赤十字社千葉県支部）

赤十字の事業は、市民の皆様からお寄せいただく寄付金や活動資金（社資）に支えられています。

日本赤十字社千葉県支部から昨年度のお礼と報告のチラシが届きましたのでご高覧ください。

・ 問合せ先

香取市福祉健康部社会福祉課

T E L 50-1209

F A X 54-3370

活動資金へのご協力ありがとうございました

皆様のご協力により、
令和6年度も人のいのちと健康を守る活動を行うことができました。

「ありがとう」の声

日赤のお医者さんが
来てくれて心強く感じました

避難所のトイレ用に水汲みをしていると、地域のほかの方が手伝ってくれました。みんな大変な中なのに人の優しさが身に染みるというか、心温まりました。日赤のお医者さんが診てくれて心強く感じるし、こうやって話を聞いてくれて嬉しいです。



石川県七尾市の避難所にて
寺田さん(令和6年能登半島地震)

事業報告の詳細は、日本赤十字社千葉県支部のホームページで公開しています。

<https://www.chiba.jrc.or.jp/about/outline.html>



令和6年度に皆様からお寄せいただいた活動資金と実施できた事業



日本赤十字社千葉県支部

この一年

令和6年度



訓練に参加する救護職員とボランティア

お礼と報告



●令和6年度も県内で赤十字活動を行うことができました。活動資金へのご協力ありがとうございました。

急な災害に備える

日本赤十字社 第2ブロック支部総合訓練

千葉県と近隣1都7県の医療チームが成田市に集結し、千葉県北西部を震源とする大地震を想定した合同訓練を実施しました。県内外から駆け付けたチームが避難所を巡回し、被災者の診療や避難所の状況調査を行ったほか、成田赤十字病院前に救護所を展開するなど、本番さながらの訓練となりました。こうした日頃の訓練が、いざというときの迅速な活動を支えています。



いのちを守る知識と 技術の普及

救急法等講習会の開催

県民の方々や各団体のニーズに応えるため、商業施設や自治会・町内会など地域で身近な会場・団体等で救急法等の講習会を開催し、3万人を超える方に受講いただきました。また、県内のUR都市機構と連携して、高齢化が進む団地などで、高齢者に起こりやすい事故の予防、日常生活の自立に向けた生活の工夫や知識を学ぶ「健康生活支援講習」を普及しました。

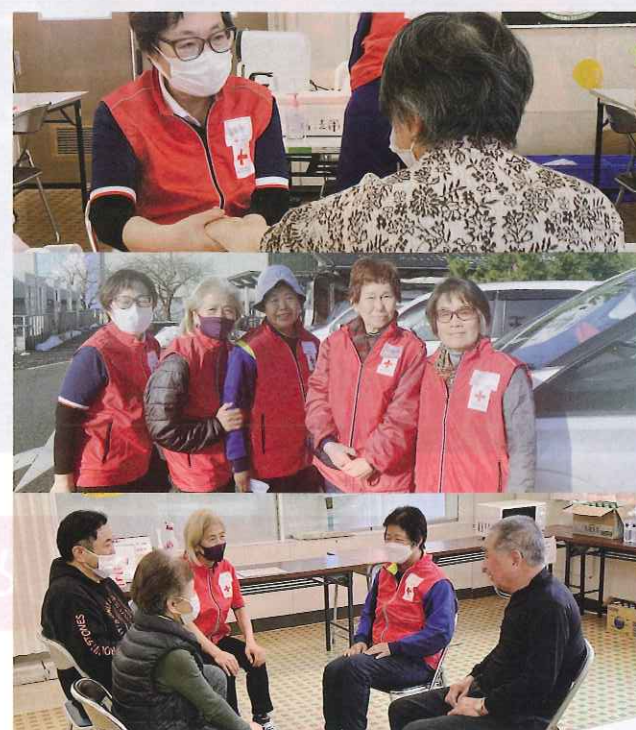


千葉県支部 この一年多くの人を「救う」ために

「たすけあう」 奉仕団活動の実践

輪島市内の被災者支援

赤十字ボランティア(健康生活支援講習指導員)を、能登半島地震で被災した輪島市内の避難所に派遣しました。避難所生活でのストレス軽減、健康支援を目的に、足湯・ハンドケアなどのリラクゼーションケア活動や、座ったまま手足を動かすことで健康を促進する健康体操を行いました。ボランティアや被災された方同士でコミュニケーションを取ることで、避難所内のところどころに笑顔が生まれました。



「広く世界を知り助け合う」 子どもたちを育む

青少年赤十字国際交流

青少年赤十字は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、学校教育の中で、人々の福祉に貢献できる自律した青少年の育成を目指しています。令和6年度は、コロナ禍で中止していた国際交流事業を5年ぶりに再開し、ネパール赤十字社に中学生4名、高校生4名が訪問しました。現地の青少年赤十字メンバーとの交流をとおり、お互いの文化や活動への理解を深めることができました。

